

Lady Go!! 第5号 2016

..* 男性PTの育児休暇取得、医大で初！チャンス到来 *.*.*

長男の誕生に合わせて育児休業を1ヶ月ほど取りました。当院のリハスタッフは女性、男性かわらず、育児に対して協力的な方が多く、心強かったです。育児休暇中は子どものことは妻には及ばず、もっぱら家事専門でした。男性の育児休暇はまだ取られる方が少なく、また取る意義やとった後の役割はわからないことが多いと思います。そこは百聞は一見に如かず。チャンスがあるならチャレンジしてみてもいいと思います。僕にとっては出産後の子どもの成長を間近で感じ、また妻の産後の辛さの中の育児の壮絶さを目の当たりにできたことは有意義な時間を過ごせたと思います。さらに育児休暇を取り、産前産後、そして育児休暇中の女性はこんなにも大変なのかを感じ、子育てをしながら働く女性のためにも男性の育児休業がスタンダードになるといいなあと感じました。(福井大学医学部附属病院 成瀬廣亮)



第2回WLB検討委員会研修会を開催して 2016.10.16

ウィメンズヘルスと理学療法～骨盤底障害～

10月16日に甲南女子大学の松谷稜子先生をお招きして研修会を行いました。今回は、普段とてもお忙しい松谷先生の講義が聞けるといことで委員全員大変待ち望んでいた企画でした。参加人数はPT男性9名、女性19名 OT女性1名 看護師1名で、中には本県以外からも参加していただき、皆さんの関心の高さを実感しました。

研修講義は、1.ウィメンズと理学療法 2.骨盤底障害とは 3.骨盤底の構造と障害 4.骨盤底障害で起こる症状～尿失禁の評価と治療～の4つで、時間はあっという間に過ぎてしまい、実技時間が短くなってしまったほどでした。また、実際のエコーでの骨盤底筋群の筋収縮を見ることはできなかったのが、再度、松谷先生に講義していただきたいと思いました。

終わりに、ウィメンズヘルス分野の理学療法は婦人科、泌尿器・消化器系の疾患、膀胱、尿道の疼痛や機能障害、慢性的骨盤の疼痛、腹部の手術後など、さまざまな分野において関わっていくことに期待されていますが、実際には、介入する機会がまだ少ないこと、これからは関連分野の医師の理解を得て、協力関係を構築する必要があると話されていました。(委員長 豊田泰美)



来年度もさまざまな研修会などを企画しています☆Lady Go!!もよろしくお祈りします☆